



日韓 YWCA シニアカンファレンス共同声明

2014. 1. 25

日韓 YWCA シニアカンファレンス参加者一同

2014年1月22日～25日、私たち日本 YWCA と韓国 YWCA（以下、日韓 YWCA）は、沖縄で「東アジアの平和と日韓 YWCA の協働」をテーマに第 8 回日韓シニアカンファレンスを開催した。これは、過去に学び未来の平和へ向けた日韓 YWCA の継続的な草の根の平和交流を重ねてきた結果であり、今回沖縄で開催したことは、世界規模の平和の実現に向けた大きな一歩となると確信する。

過去において、日本は朝鮮半島およびアジア諸国への侵略（植民地化）を行い、多くの人々の人権を侵害し、尊いいのちをも奪ってきた。現在、沖縄への米軍駐留によって沖縄県民への暴力が繰り返され、また、教科書問題や安倍首相の靖国神社参拝などにみられるように過去の歴史への反省に立つことなく再び戦争体制づくりが進んでいる。

同様に朝鮮半島においても、朝鮮戦争によって祖国が分断され、現在、朝鮮民主主義人民共和国（以下、DPRK）に暮らす女性や子どもの人権、アメリカ軍による韓国駐留など、平和を阻む状況が続いている。

さらに、日韓両国は、現在、原子力発電所の建設・稼働・アジア・アフリカ諸国への輸出や、深刻な貧富の格差などの共通課題を抱えており、それら弱者へ負担を強いる社会構造は、慢性的な暴力の原因となっている。

過去の日本による朝鮮半島の植民地化の問題と、現在の日本・アメリカによる沖縄への負担の押しつけや原子力発電所の建設は同様に、弱いもの・弱い地域を無意識に支配する「犠牲のシステム」である。このシステムは、国や地域を越えて共通に見られる。このような犠牲のシステムのもとでは、被害を受けた女性たちは声をあげることすらできない。しかし、一方で、元軍隊慰安婦や沖縄の女性たちのように「声をあげないことは次の犠牲者を生む」といって、勇気を持って声をあげる女性たちがいることも忘れてはならない。

私たちは、このような「犠牲のシステム」＝社会の構造的暴力に対して、「キリスト教を基盤とし、真の正義と平和な世界の実現を目指す」という使命と社会的責任を確認した。

非暴力を基調に市民が草の根の平和構築を進めていくために、国連安保理決議 1325 号を生かし、非暴力平和を実現しようとする女性の視点に基づいて基地や軍人による女性や子どもへの暴力の撲滅を目指す行動計画を作成する必要がある。

韓国 YWCA は、キリスト教の立場から「核と信仰は両立できない」と告白した。また、日本 YWCA は、「核兵器も原発も、私たちの生活とは共存できない。いのちを選ぶ私たちは、『核』否定の思想に立つ」と宣言した。現在と未来のすべての人のいのちの保全のために韓国 YWCA と日本 YWCA は共通の歴史認識を持って密接に連帯し、核のない平和な世界をつくるために、以下のことを持続的に行っていく。

1. 2011年の第57回世界YWCA総会で共同提案した決議の実践のために

- ① DPRKの現在の状況（女性人権侵害・子どもの栄養失調問題など）について情報を共有する。
- ② 韓国YWCAは、北朝鮮の子どもの栄養支援と、難民（DPRK出身者）の韓国内での生活支援のために、また日本YWCAは、脱北難民の韓国内での生活支援のために啓発活動と募金活動を行う。
- ③ 朝鮮半島の平和に関する国際交流プログラムを日本で実施する。
- ④ 日本の朝鮮学校の授業料無償化の問題に取り組む。
- ⑤ 朝鮮半島の分断を克服する普遍的な平和のメッセージを世界に向けて発信する。

2. 軍事基地の撤廃に向けて

- ① 軍事力によらない平和構築のために、国連安保理決議1325号の具体化を推進する。
- ② 外国軍の長期駐留による女性や子どもの人権侵害をなくし、いのちの尊厳をまもる。
- ③ 戦争につながる軍事基地による環境破壊と環境汚染に反対する。
- ④ 現存する基地における②③の被害を最小に食い止めるために、まず不平等な日米・韓米地位協定の改定に取り組む。
- ⑤ 2015年の第58回世界YWCA総会で2035年長期ビジョンに軍事基地がもたらす女性への暴力の問題を盛り込むよう働きかける。
- ⑥ 日本YWCAは、沖縄への基地押しつけ等の差別的構造の解決に向けて行動する。

3. 脱核運動の推進にあたって

- ① 韓国YWCAが展開する脱核「火曜日キャンペーン」に日本YWCAも連帯する。
- ② 「火曜日キャンペーン」の実績を世界YWCAに伝え、世界に発信する。
- ③ 若い世代とともに脱核運動を推進する。
- ④ 共通の歴史認識を持ってライフスタイルや市民社会のあり方を再検討し、経済優先ではない、平和で持続可能な、いのちが大切にされる社会を目指す。
- ⑤ 2015年の第58回世界YWCA総会において、核のない世界を目指す決議を日韓YWCAが共同提案する。

私たち日韓YWCAシニアカンファレンスの参加者一同は、沖縄の地で軍事基地のもたらす現状を学んだ。新たな基地建設阻止に向けて、私たち一人ひとりが「隅のかしら石」となり、東アジアの平和構築、そして世界平和実現に向けて共に歩みを続けていく。